

令和3年7月7日



鹿っ子だより

浜松市立鹿玉小学校

<学校教育目標> 自ら考え みがき合う子

<http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/aratama-e/>

～ 学びを通して、豊かにしたい「相手を思う心」～

「いのちについて考える日」を通して学んだことは...

学校では、6月11日(金)に「いのちについて考える日」を設定し、命の大切さについて、各学年、道徳の時間に考えを深めました。

1年生は、自分の命が奇跡に近い確率で誕生したこと知り、一人一人が大切な存在である事について、話し合いました。2年生は、自分が生まれたときの様子や成長した今の自分について改めて考え、多くの人に支えられて成長してきたということに気付いた授業でした。3年生は、「ヒキガエルとロバ」で、人間や動植物など生命あるもの全てを大切にしていこうという意識が高まりました。また、「光祐くんのアサガオ」では、一生懸命に生きることのすばらしさについて、意見を出し合いました。4年生は、いつもそばにいたおばあちゃんがなくなり、始めは寂しさが大きかった男の子が、少しずつ「おばあちゃんが心の中で生きていて自分を支えてくれている」ことを、実感していく心の成長について話し合いました。5年生は、重い病気でなくなった子供の話を読んで、当たり前で過ごしている日常の大切さについて、考えました。6年生は、学級でからかわれている友達に対して、何も行動できなかった「ぼく」の心の葛藤を考えることを通して、どのように友達と関わっていけばよいか、意見を出し合いました。わかば・なかよしは、主に2・4年生と同じ話を扱い、命はどうして大切なのかについて考えました。

子供たちは「いのちについて考える日」を通して、命の大切さについて改めて考える日となったと思います。学校の使命は、子供たちに「自分の命も周りの人の命も大切にできる心」を育てることだと考えています。

「臨海学校」での学びを学校生活で生かすために

出発式で、子供たちに二つの事を話しました。

一つ目は、この臨海学校で、「自分のよさを発揮しよう、友達のよさを発見しよう。」二つ目は、「互いが気持ちよく生活できるよう、自分ができていることを考えて行動しよう。」でした。

雨による活動の制限もありましたが、一人一人が目標をもって活動できたと思います。学年のめあて「自主的な行動で、6年生に向かってレベルアップ! 最高の思い出を作ろう!」は、十分に達成できたと思います。互いの考えや思いをくみ取りながら行動していた子供たち。すばらしいこの姿は、とても頼もしく感じました。臨海学校を実施するにあたり、保護者の皆様の御理解をいただき、ありがとうございました。



校長 西川 正師

学年ごとにプール開き

6月中旬から、学年ごとにプール開きを行い、プール指導が始まりました。今年初めてのプールに子供たちは、とても気持ちよさそうに水の感触を楽しんでいました。これから、ますます暑い時期を迎えますので、プールでの授業が増えてきます。夏休みまでの短い期間になりますが、安全に配慮して、学年ごとの水泳の目標が達成できるよう指導していきます。



3年 プール開き

学校運営協議会

本校では、昨年度よりコミュニティ・スクール（コミスク）が始まっています。これは、保護者や地域の皆さんの声を学校運営に生かし、地域と一緒に「特色ある学校づくり」を進めていくものです。そして、それらのことについて話し合う場が、学校運営協議会です。先日の、第2回学校運営協議会では、協議会委員の皆様へ授業参観をしていただき、多くの感想や御意見をいただきました。



第2回学校運営協議会の様子

また、学校の教育目標を実現するために、地域で可能な様々な支援策を提案していただきました。多くの皆様方の御支援をいただくことで、地域全体で鹿玉小の子供たちの健やかな成長を支えていけたらと思います。御理解と御協力をお願いいたします。

授業参観会

先日、授業参観会が行われました。子供たちの学習の様子はいかがでしたでしょうか。子供たちにつけたい力を確実に定着させるために、今後も毎時間の授業を大切にしていきたいと思います。



2年生 道徳



6年生 外国語



5年生 理科



3年生 国語